

# 道標～みちしるべ～

## 第2号

平成 26 年（2014 年）4 月発行  
みはらライフケアクリニック  
（TEL：096-237-7555）

### 60 にして迷わず！

（熊本県医師会誌掲載一年男男女の新春随想―）

昭和 55 年（1980 年）、熊大を卒業し、長野県厚生連・佐久総合病院へ赴任した。外科医として 3 年余り勤務し、昭和 58 年 8 月に日本赤十字社熊本健康管理センターに赴任。超音波健（検）診を創るために、県内各地を飛び回った。腹部、乳腺、甲状腺の超音波健診を構築し、年間 10 万人の健診を行うまでに成長、世界一の超音波健診を創り上げたと自負している。内視鏡検診（上部消化管、大腸）も創り上げた。マンモグラフィや胸部 CT 検診等も導入、様々ながん検診システムを導入し、年間 400 例の癌を発見するまでになった。さらに、他に類をみない事後管理システムを構築し、発見癌の詳細な分析から、予後調査まで可能となっている。集積した癌症例は 7,000 例を越す。膨大な数の論文執筆、学会発表、講演を行い、厚生労働省の班会議等にも多数出席、熊本肝炎友の会を立ち上げ 15 年間事務局長として肝炎患者様のお世話もした。少なからず社会に貢献してきたと思っている。

日赤熊本健康管理センターに 28 年余り勤務したが、平成 23 年（2011 年）11 月に開業した。外科医・健診医として、これまで培ってきた医療技術を開業医として実践したい。残りの人生を、開業医として集大成したいと思ったのである。名称も、“みはらライフケアクリニック”とした。“life”、すなわち命・生活・人生のケアを行い、一つでも多くの命を救いたい、全ての人に幸せになっていただきたい、それが私の願いである。癌の早期発見は私のライフワークであるが、胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆嚢癌、乳癌、甲状腺癌、膀胱癌、前立腺癌などすでに 52 例の癌を発見した。機関誌“道標～みちしるべ～”の発刊、管理栄養士による栄養相談も軌道に乗り、機関誌“栄養だより”の発刊も行った。地域に根ざして、少しずつステップアップして行きたいと思っている。

人生にはいくつかの大きな岐路がある。迷った時には、きつい方、大変な方を選択するほうが成功する確率が高いと言う。外科医から健診医へ、そして開業医へ、私にとっては大きな人生の転換点であった。しかし、外科医であろうと、健診医であろうと、開業医であろうと、志は変わらない。多くの人に支えられ、スタッフに恵まれ、患者様に恵まれ、今本当に開業してよかったと思っている。先の決まった人生よりも、先の見えない人生の方が、何倍も楽しいし面白い。“生きるとは、ただひたすらに燃えること！”私の人生訓である。



（市房ダム―1 万本の桜―）



（御立岬）

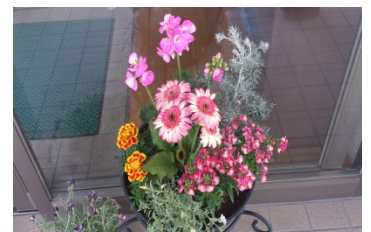


昭和公園（大津町）

### スタッフ紹介

事務主任：阿田 悦子  
（牡牛座、血液型；A 型）

開院以来、いまだ皆勤賞！元気が取り柄の受付嬢（？）です。皆様を、笑顔ときれいなお花で気持ち良くお迎えしたいと、時間があれば園芸店巡りをして、玄関に置く寄せ植え作りに挑戦しています。まだまだ数が少なくさびしいのですが、今後の上達に期待しててくださいね♪♪



# 特集：“がん”で死ぬのはもったいない！

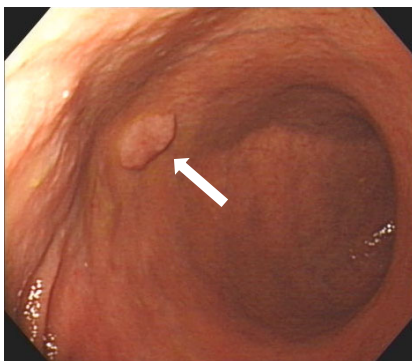
## 第2回：胃癌とピロリ菌

現在わが国では、年間約12万人が胃癌に罹患し、5万人弱が死亡しています。胃癌の罹患率は男性では第1位で、年々増加傾向にあります。女性では乳癌、大腸癌に次いで第3位で、罹患率は横ばい状態です。また、胃癌による死亡率は男性では肺癌に次いで第2位、女性では大腸癌、肺癌に次いで第3位になっています。胃癌に罹る人は増加していますが、胃癌による死亡は減少傾向にあり、検診や内視鏡検査の普及等による、早期発見の効果と思われます。

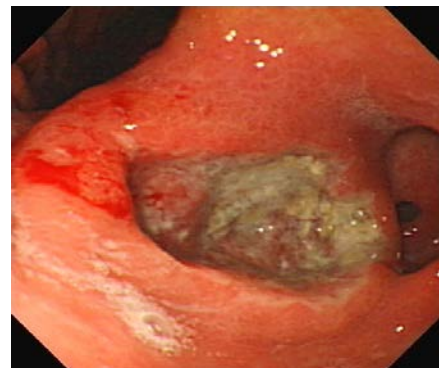
最近、ほとんどの胃癌が、ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）感染を背景に発症することがわかってきました。加齢とともにピロリ菌の感染率は高くなり、日本人の40%程度が感染しています。まだ免疫力がつかない5歳以下の時期に、経口感染するといわれています。ピロリ菌に感染すると、胃粘膜の老化が早く進行し、“萎縮性胃炎”と言われる状態となり、胃・十二指腸潰瘍や胃癌が発生しやすくなります。ピロリ菌感染が判明した人は、早めにピロリ菌を退治する（除菌）ことによって、潰瘍だけでなく胃癌発生の予防にもつながります。生活面では、塩分の過剰摂取や喫煙（タバコ）を控えることが大切です。

胃癌を早期発見するには、検診（胃X線検査）や早めの内視鏡検査が不可欠です。ピロリ菌に感染している人や、ピロリ菌を除菌した人、症状（胃が痛い、胃がもたれる、胸やけがするなど）のある人、家族に胃癌が多い人などは、定期的（1～2年毎）に内視鏡検査を受けることをお勧めします。ごく早期の胃癌であれば、開腹手術をせずに内視鏡で切除できる癌も増えてきました。

当院でも、開業以来7人の胃癌が発見され、6例が早期癌でした。そのうち4例が、内視鏡的切除（ESD）で治癒しています。また、3例は非常に進行が速く、早期発見しにくい未分化型胃癌と呼ばれる癌でしたが、2例は幸いにして早期癌で、手術で治癒しています。1例は残念ながら進行癌で、手術後半年で亡くなりました。当院では、質の高い内視鏡検査を提供できるよう努力しており、ESDが可能な早期胃癌をたくさん発見していきたいと思っています。



早期胃癌（内視鏡的切除）



進行胃癌

### <お知らせ>

- \*睡眠時無呼吸検査を行っています。
- \*栄養処方が保険診療でできるようになりました。  
(月、火、木、金曜日の午後)

\*内視鏡検査(胃、大腸)のご予約は、  
早めにお問い合わせ致します。

### 御意見箱

初めて診察に参りましたが、大変設備がよく、先生はじめ看護師さん方も親切で、感じが良かったです。心地よく安心して受診できました。

(67歳、女性)

先生をはじめ、皆様方が大変親切でした。安心してお願いできます。今後とも、よろしく願いいたします。(75歳、男性)